Kyoto Hollywood News
京都ハリウッド通信

助さん格さんから昇格 5代目里見黄門様 いよいよ登場！

かつて助さん格さんの両名を演じた里見浩太朗。「はぐれ」の当番組復帰は若き助さん格さんが昇格される念願の黄門役

白い髭に杖、前回の石坂黄門と打って変わって、正統派黄門ルックで原点への回帰を目指す

体調不良で降板した4代目石坂黄門に代わって、里見浩太朗が5代目黄門を演じる「水戸黄門」第31部がTBS系にて10月14日月曜夜8時より、いよいよ放映される。

里見は初代黄門の東野英治郎、2代目黄門の西村晃の両シリーズに出演、'71年から'88年まで助さんを演じており、月形龍之介が黄門を演じた映画「天下の副将軍」('59年)では格さんを演じている、黄門様とは深い関わりのある経歴の持ち主。

里見自身も「いつかは黄門様を」と念願していた役柄だけに、今回のオファーはまさしく夢の実現。7月より東映京都撮影所で開始された撮影にも意欲満々で挑み、「厳しく、渋く、そして優しい黄門像をお見せしたい」と、髭を無くすなど、革新的だった石坂黄門に対して「正統派」スタイルで「黄門像の原点に立ち返る」と強調。65歳となる里見すら、大役を演じるプレッシャーで撮影初日はカメラを前にして頭の中が真っ白になったそうだ。

今回助さん格さんを演じるのは前作に引き続き岸本祐二、山田純大、その他のレギュラーはお馴染み女忍者・疾風のお組に由美かおる、一行の旅先に現れる少女を連れた謎の忍者・風の鬼若に照英、黄門様の世話をする八重に岩崎加根子ら。

今回のテーマは人間回帰、失われた日本人の心を取り戻す旅。エンターテインメントとしての時代劇の面白さを追及しながら、人間にとって何が一番大切かを問い論しながら旅を続ける。

吉右衛門の大石内蔵助で新春ワイド時代劇

テレビ東京・「忠臣蔵～決断の時」

次回のテレビ東京の新春恒例「新春ワイド時代劇」が「忠臣蔵～決断の時」に決定。7月から松竹京都映画で撮影が開始される。主人公の大石内蔵助を演じるのは「鬼平犯科帳」で鬼平を演じた中村吉右衛門。舞台では何度も内蔵助を演じてきた吉右衛門だが、映像作品では初めての挑戦。放送は2003年1月2日午後2時より。

今回の忠臣蔵は松の廊下の刃傷事件から吉良邸討ち入りに至るまでの内蔵助の行動を、「組織が未曾有の危機に見舞われた時、リーダーが取るべき危機管理の法則とは?」「討ち入りという社会のタブーに挑戦するビッグプロジェクトを遂行するリーダーシップとは?」という現代的な視点で追い、混迷の時代に生きる人々に指針を与え、元気づけるようなドラマとなっている。吉良役は橋爪功。出演は他に黒木瞳、上川隆也、牧瀬里穂、伊原剛志、田辺誠一、高橋和也、純名りさ、中村梅雀、蟹江敬三、榎木孝明、細山田隆人ら。

鬼平の中村吉右衛門（右）が大石内蔵助役に映像では初挑戦。左は今回、浅野内匠頭役を演じる上川隆也

アメリカでも大人気

「子連れ狼」復活！

劇画「子連れ狼」は昭和45年より6年間「週間漫画アクション」に連載、大ブームを巻き起こし、発表と同時に若山富三郎主演で映画化され、この映画「子連れ狼」は日本国内に止まらずアメリカでも大ヒット。血が飛び散るリアルなスプラッター描写は「13日の金曜日」などアメリカのホラー映画に多大な影響を与えた。萬屋錦之介主演でテレビ化もされ、人気は不動のものとなり、以降、高橋英樹、田村正和主演でも映像化され、2001年には原作が全米コミックス・インダストリー・アワードを受賞する快挙を成し遂げた。

「子連れ狼」とは柳生一族の陰謀で家族を惨殺され、家名を断絶された拝一刀（おがみいっとう）が、3歳の一子・大五郎を連れ復讐の旅を続けるハードボイルド作品。今回、拝一刀を演じるのは北大路欣也。時代劇の王道たる本作を真正面から捉らえ、今の時代性も織り込んだ傑作を目指す。10月14日より毎週月曜夜7時、テレビ朝日系にて放映。

「子連れ狼」30年ぶりにテレビシリーズとして復活。拝一刀の北大路欣也と大五郎の小林翼

好評にお応えして再登場

中村雅俊「オヤジ探偵」

早乙女公彦（中村雅俊）47歳、職業・探偵で元刑事。娘・黎（れい・遠藤久美子）21歳、職業・刑事。二人は親子、そしてライバル。昨年7月に放送され好評だった「オヤジ探偵」が復活。京都の街を舞台に、老舗みやげ物屋に婿入りした元刑事の中年探偵が、そろばん勘定に合わない世の中の社会の断面から滲み出る様々な依頼を受け、その解決に奔走。娘が反対を押し切って刑事になって以来、何かとギクシャクしながらも、事件に首を突っ込んでは娘の上司であるキレ者女刑事・白瀬（片平なぎさ）と時に対立し、時に共感する不思議な関係となる。公彦の姑・郁（岸田今日子）は公彦に愛想を尽かし、黎を店の跡取りにしようと画策、事件捜査と家庭の事情が入り混じりつつ、オヤジ探偵・公彦が不器用ながらも精一杯に突き進み、事件の真相を突き止めていく。

10月10日より毎週木曜日夜8時、テレビ朝日系にて放映。前回は他局裏番組の「ストーリーランド」と「テレビチャンピオン」を押さえて快進撃、満を持しての再登場となる

トピックス

「剣客商売」秋より撮影開始。

藤田まこと、渡辺謙太郎主演のフジテレビ「剣客商売」の新シリーズが秋より松竹京都映画で撮影が開始される。「怪談百物語」終了後、空白となった火曜時代劇枠の久々の新作となるだけに期待が集まる。

「怪猫シリーズ」一挙DVD化。

大映京都撮影所が製作し、一世を風靡した一連の化け猫映画シリーズが一挙DVD化された。発売されたのは「怪談佐賀錦縁」「怪猫有馬御殿」「怪猫四谷怪談」「怪猫五十三次」「怪猫浜松城」「怪猫呪いの壁」「秘録怪猫伝」の全8作。デビュー間もない勝新太郎が白塗りの二枚目で出演しているのが、今見ると新鮮。発売は日本ビクター。

東映傑作時代劇DVD化。

旧作がどんどんDVD化され映画ファンを喜ばせているが、東映ビデオより東映京都撮影所で製作されたヒット作が続々DVD化。深作欣二監督作品「柳生一族の陰謀」「魔界転生」「工藤栄一監督作品「十三人の刺客」の3作品。特に「魔界転生」は人気絶頂時の沢田研二と真田広之のキスシーンで話題を集めた。2枚購入すると1枚好きな作品のDVDをプレゼントというサービスも嬉しい。

今月の言葉

責任編集人
山田誠二

1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

小生脚本監督「妖奇怪談全集」の好評で早くも続編の企画が浮上。それとは別に2本の映画と4本のテレビシリーズの企画が同時進行。早ければ来年早々からどれか1本の撮影がスタートの予定。「怪談全集」を演出して監督は体力勝負だとつくづく痛感。でも毎日の生活は部屋にこもり切り。これではいけないと思いつつ、相変わらず部屋で過ごす毎日。

２００２年10月１日　山田誠二